

様式 2

令和 3 年度 第 1 回学校評議員会 会議録

開催日時	令和 3 年 7 月 6 日(火) 16:30 ～ 17:55	
会場	北海道滝川高等学校 校長室	
出席者数	学校評議員 3 名	学校職員 5 名
出席者名	春田淳一、岡田理恵、中島 啓 (敬称略)	校 長、教頭(全日制)、教頭(定時制)、 事務長、主幹教諭
校長が意見を求めた事項		学校評議員の意見
校長から今年度の学校経営方針等について、また、全日制・定時制教頭から学校概要や今年度の具体的な教育計画及び重点事項等について説明した。		
説明事項についての質疑・意見等	【質疑】 - 単位制を導入して何か変化はあったのか。 - 普通科の総合探究において、これまで 1 クラスを 2 人の教員が指導してきたが、現在の 3 年生は 5 クラスを 28 人の教員が担当したり、1 年次において習熟度別の授業も始まっている。 - SSH の中間評価に向けて、学校として何か取組をしているのか。 - 校内組織の改編やクロスカリキュラムの開発、高大接続の強化等を行っている。 - GIGA スクールの状況はどのようになっているのか。 - タブレット端末が 40 台導入され、Wi-fi の接続ポイントも各普通教室に設置された。総合探究の授業等で、少しずつ使用され始めている。今後は、使い方を含め指導体制を整えていきたい。 - 定時制の入学者の確保に向けて何か P R を行っているのか。 - 近隣の中学校を訪問し、学校の特色等を進路担当者等に説明を行っている。また、スクールカウンセラーらの口コミで入学してくる生徒もいる。 【意見】 - 普通科の課題研究発表会について、学校と地元企業との連携を上手く図って欲しい。また、学校評議員にもぜひ案内して欲しい。 - S S H についても、採択当初に比較し、全校体制が整いつつあるのではないかな。 - 定時制の入学者確保のために、滝川市のスクールソーシャルワーカーと連携してみてはどうか。 - 定時制には年少期につまずいた生徒もいると思われるが、そのような生徒に対しても就労支援を行っていききたい。	
上記のとおり会議を開催した。		
令和 3 年 7 月 7 日 北海道滝川高等学校長 古 川 栄 一		

